

## 第36回学生祭に晴天と多数の来場者を！



学生祭バザー用品受付  
弁当予約受付  
会場準備

10月20日（月）まで  
10月20日（月）まで  
10月23日（木）午前9時～  
10月24日（金）午前9時～  
10月25日（土）・26日（日） 午前9時～午後3時  
10月29日（水）午前7時30分～午後7時

**お知らせ**

10月27日（月）～10月31日（金） 授業はありません

## 賑やかで楽しい学生祭に

### 老大学長 高橋 和男

今年の夏は、異常気象による集中豪雨で広島市などが甚大な土砂災害に見舞われた。老大は被災者救援募金を行ない、福山市社会福祉協議会を通して総額 265,163 円の義援金をお届けした。

福山地方は、幸いにも被害を免れ、例年より秋の訪問が早く、文化・スポーツに最適の季節となった。

10月2日の後期教養講座は、文化の秋にふさわしい素敵なコンサートになった。各クラブ活動も大会の開催などで盛り上がっている。

そして、いよいよ老大最大イベントの学生祭を迎える。日頃の学習とクラスや学生会の活動の成果を作品展示や芸能発表そして祭の運営にしっかりと發揮し、賑やかで楽しい学生祭にしたいものだ。

ご家族やお友達や多くの市民にご来場いただきて、老大の良さを知っていただき、これまで以上の応援と新規入学者の増員に繋げたい。

## 学生祭バザー用品の提供を！ 10月20日までに

学生会の本部役員の新しい体制が発足し、会長を筆頭に学生祭準備に奮闘しています。学生祭で販売するバザー用品の受け入れと値付け作業を連日大勢の役員で行っています。家庭で不要なタオル類、食料品（賞味期限内）、衣類（未使用）等をご提供ください。

（副会長 田嶋 紀美子）

## 爽やかで豊かな音色に包まれて – 10月2日 後期全員教養講座 –

老大学生がお誘いした一般の方を含めて1500名がリーデンローズの席を埋め、会場が1つになって文化の秋を楽しんだ。

ステージ中央に据えられた大きなマリンバ。「どう演奏するんだろう」と興味をそそられたところヘバチ（マレット）4本を手に佐野幸子さんとピアノの小林麻美さんが登場。

1曲目は平原絢香が唄う「ジュピター」。2本ずつ持ったマレットが微妙な動きを見せ、柔らかで豊かな音色が大ホールを包む。幸子さんは力強く右に進むかと思えば、背をかがめ音を慈しむように鍵盤を叩く。魅了された。

続く演奏では曲毎にマレットの種類や数が変わる。「私も来年で還暦を迎えます」の告白に満場の拍手。

オカリナは両手で包める小さい楽器だが、「アメージング・グレース」・「天空のオリオン」などの曲の哀愁のこもった音色が会場いっぱいに流れていく。演奏者・佐野豊さんの顎と胸が波打つ。すごい肺活量だ。指を細やかに動かすことでの体全体が楽器になるのだろうか。「ふるさと」など日本の歌は、「と一緒に」と促されて気がつけば私達は自然に唄っていた。

ピアノは自己主張しないけどマリンバやオカリナの演奏を支え、より深みのある曲をつくっていくのだと知った。私も深みのある人間になりたいと思わせてくれたひと時だった。 （副会長 堀江 時子）



### 10月3日、佐野幸子さんからのメール

温かく迎えていただき、心を込めて聴いて下さり、素晴らしい空気をつくっていただきました。お蔭で皆さまと音楽を楽しんでいる実感が持てました。本当に有難うございました。

## 広島土砂災害被災地での作業ボランティア報告

9月11日、私に出来る被災者支援があればと友人と一緒に福山市社会福祉協議会のボランティアバスで現地に出向いた。テレビで何度も見てきた光景だが、現実は生々しかった。

道路を復旧するために、道路わきに寄せられた土砂を土嚢袋に詰めてトラックに載せる作業だったが、大きな石やゴミが混じっていて重くてなかなかはかどらない。50人近い者が4時間かけてやり終えた土砂の撤去幅は8メートル程でしかなかった。家の中の複雑な場所を家族で撤去作業されるのかと思うと言うようない気持ちになった。

しかし、救われたのは、ボランティアの人達の思いだった。東京・大阪・沖縄などから休みで広島に帰ってきていて参加したり、80歳代の女性が、「自分の地域は大丈夫だったから、お役に立てば」と参加されていました。自分も参加して良かったと思ったし、一緒に過ごした時間が充実したものになった。感謝であった。

### 霞小2年生36人が見学に！

9月12日に町探検の勉強でやってきた。目を輝かせながら沢山の質問をし、老大学生と和やかに交流。

パソコン教室では、おじいちゃんおばあちゃんが上手に操作しているのに感心していた。コーラスの教室では、老大にも校歌があることに驚き、その歌声に子どもたちが大きな拍手を送った。



## 新刊64冊、図書室へ

今年も「義倉」から図書購入用寄附10万円を頂戴し、皆さんから購入希望を募り、79冊13万円の申し出があった。

学生会芸部が、調整して購入図書を決め、既に図書室の新刊コーナーに配架済み。なお、今回も図書整理に熱心な学生にご協力をいただいた。

（事務局）